

実施日 平成29年7月25日(火)

集合 JR水道橋駅東口 改札前 9:30 集合
(東京都教職員研修センターがある側です)

行程

9時30分 JR水道橋駅改札前集合
↓
9時40分 元町公園・元文京区立元町小
⇒聖橋⇒万世橋駅・万世橋
↓
11時00分 神田駅
(東京メトロ銀座線)
↓
11時10分 日本橋駅
↓
11時15分 日本橋⇒その周辺
↓
11時50分 中央区立阪本小(校舎内見学)
【昼食】(弁当を全体で発注します)
↓
12時50分 ⇒永代橋⇒豊海橋
⇒清洲橋⇒清澄庭園
↓
14時10分 清澄白河駅
(都営大江戸線)
↓
14時20分 両国駅
両国周辺⇒両国橋⇒柳橋
↓
15時20分 ⇒東京都慰霊堂
⇒東京都復興記念館
↓
16時30分 解散予定

- かなり歩きます。歩きやすい服装でご参加ください。スーツ、革靴厳禁！！
- 移動は地下鉄等を利用します。各自パスモ、スイカ等をご準備ください。
- 気温が高いことが予想されます。帽子、雨具、水筒などを各自でご用意ください。
- 雨天・高気温の場合はコースの変更をします。

◆◆◆ 夏季研修会 ◆◆◆

〈後藤新平・震災復興の遺産をめぐる〉

副読本「わたしたちの東京都」には「東京のまちをきずいた人 後藤新平」の單元があります。関東大震災という未曾有の災害からの復興デザインの中心になった人物が後藤新平です。現在、都内に残る復興遺産をめぐり、教材研究の糧にするとともに、教師自身が後藤新平と東京の復興遺産を実際に肌で感じることで、子供たちの学ぶ意欲が高まる授業につながればと考えています。ぜひ、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

復興公園・小学校

関東大震災からの帝都復興は帝都復興院総裁となった後藤新平らによってすすめられます。なかでも小学校を鉄筋コンクリートとし、耐震化・不燃化にすると共に小公園を隣接させることで防火帯と避難施設としました。ドイツ表現主義を実感！

復興橋梁

復興の柱の一つは新しい橋梁です。なかでも隅田川にかかる、帝都の門といわれた永代橋、ケルンのつり橋をモデルにした清洲橋は復興橋梁の2大スターです。隅田川の河畔を歩き復興橋梁を間近から観察し、その迫力と当時の様子を体験できればと思います。

両国・東京都復興記念館

江戸の歴史を語る上で外せない両国周辺を巡検します。両国橋は東京市が担当して架橋された橋梁です。東京都慰霊堂、復興記念館は震災や戦災の犠牲者を弔うために昭和5年につくられた施設です。当時の遺品や資料が多数展示されており復興をメインにした資料館です。当日は学芸員の方の解説・説明を予定しています。

<ファクシミリ送信用紙> 送信先：中野区立新井小学校 校長 杉淵

H29 東京都小学校社会科研究会夏季研修会

(後藤新平・震災復興) [7月25日実施] 参加申込用紙

氏名

職 所属

当日の緊急連絡先 (任意)

学校の電話

学校のファクシミリ

<参加者の皆様へ>

- 当日はかなり歩きます。歩きやすい服装でご参加ください。スーツ、革靴、大きな荷物は厳禁！雨具、帽子などもあるとよいと思います。また水分補給などについても各自で十分にご留意ください。
- 当日の移動は地下鉄等を予定しています。パスモ、スイカなどの交通系支払カードを各自ご準備いただくと便利です。
- 昼食は研修会として業者にお弁当を発注いたします。阪本小学校にて食事をさせていただきます。ペットボトルや水筒などは各自ご用意ください。
1000円程度の弁当を予定しています。昼食代金は当日、集金させていただきます。
- 基本的に雨天実施とします。雨天の場合は雨の状況によりコースの変更をします。
(台風等で実施が危ぶまれる場合については下記担当の学校までお電話ください)
- 定員は25名です。定員を超えた場合は参加できない旨、ご連絡いたします。

※申し込み締め切り:平成29年7月12日(水)

<申し込み方法>

本用紙に必要事項を記入し、下記の担当までファクシミリにて送付してください。
(この用紙のままファクシミリしてください。)

中野区立新井小学校 校長 杉淵 尚 ファクシミリ **03-3389-2312**

電 話 03-3389-2311